

横浜市会議員・議会運営委員会自民党理事

こども青少年・教育委員会 委員長

自民党横浜市支部連合会 幹事長

かじむら 充  
みづる

いきなり肩書きが多くなり  
ました。四年間の厳しい  
時期を経て、四月の選挙、  
五月の議会、そして六月の  
自民党大会と、めくるめく  
日々でした。そしていきな  
りの重責です。私自身厳し  
かった時に「決して楽な道  
だけはゆくまい」と決めて  
おりましたが、躊躇し辞退  
しなければならぬ程の責  
任です。

常在戦場と言われ、いつ

あるかも知れない、まさに  
「政権奪還」しかない衆議  
院選挙対策を役目としての  
幹事長と、また「横浜のこ  
ども達が」夢を持ち、希望

を抱き横浜に生まれてきて

本当に良かったと思える教  
育の環境作りを役目として  
の委員長は双方とも大変難  
しい職務ではありますが、  
なんとしても皆様から賜り  
ましたご負託に応えるべく  
懸命に努めてまいり覚悟で  
ございます。また当然の事  
として「まず地域、まず暮  
らし」強い思いで地域のた  
めに働き、地域に根ざした  
活動をしてまいります。

さて、四月の選挙後、新

議員編成での初議会が行な  
われました。東日本大震災  
で甚大な被害を被りいまだ  
その復興の道さえ示されて

いない方々や地域に対し、

心からお見舞い申し上げる  
次第でございます。今議会  
中に横浜市長から「総合的  
な震災対策の考え方につい  
て」説明がありました。また「持  
続可能な敬老パス制度のあ  
り方」による新たな取り組  
み方が議論されました。私  
が委員長をしております  
「こども青少年・教育委員  
会」における議案は、子ど  
も手当ての国の制度が定ま  
らない影響を諸に受けて、  
当初予算821億円余りか  
ら、317億円余りを減額  
するということなんとも理解し

がたいこととなり、十月に  
はまた新たな制度にあわせ  
て、補正しなければなりま  
せん。教育委員会では、教  
育予算の拡充に関する意見  
書を国に対して提出いたし  
ました。また東京電力福島  
原発の事故の影響による放  
射線で、子ども達の受ける  
線量がどうなるのかご父兄  
の皆さんから大きな心配が  
寄せられ、横浜市として独  
自の測定や公表が求められ  
た所ですが、議会開催中  
はその結論は出し切れない  
ままでした。しかしながら  
基礎的治主体としてこのま  
までよいのかと大きな疑問  
を感じたところ、六月一日  
には市内の学校・保育園・  
公園・土壌等・海水や給食  
食材への放射線の測定を行  
い公表する事が決定し、順  
次行なわれます。